

授業科目	＊キリスト教					実務家教員担当科目	－		
単位	2	履修	必修	開講年次	1	開講時期	後期		
担当教員	久保田 理								
授業概要	キリスト教の教えを伝えている聖書について、その内容と背景の全般について知ることで、キリスト教の考え方を学びます。また、キリスト教の礼拝における聖書と讃美歌の役割を知ることで、キリスト教に対する理解を深めます。そして、自己の思考においてキリスト教的な考察方法を手段として用いることで、学習の視野を広げ将来の糧となるものを蓄積します。 この点を踏まえてキリスト教文化について学びを行います。その上で新約聖書において神であるイエス・キリストがどのように表現されているかを理解します。								
授業形態	対面授業				授業方法				
学生が達成すべき行動目標									
標準的レベル	授業での学習とともに、予習として次回に参照する聖書の箇所を読み、チャペルに参加して聖書と讃美歌に親しむことで、 1. 新約聖書に記されている事柄について理解する。 2. 新約聖書の契約としての神の国の約束について理解する。 3. キリスト教の文化を理解して教会の礼拝に参加できる。								
理想的レベル	授業での学習とともに、予習として次回に参照する聖書の箇所を読み意味を考え、チャペルに毎回参加して聖書と讃美歌に親しみ思い返す時を持つことで、 1. 新約聖書に記されている事柄について理解し、その意味を説明できる。 2. 新約聖書の契約としての神の国の約束について理解し、その意味を説明できる。 3. キリスト教の文化を理解して教会の礼拝に積極的に参加できる。								
評価方法・評価割合									
評価方法			評価割合（数値）				備考		
試験			60				0		
小テスト									
レポート			5				0		
発表（口頭、プレゼンテーション）			5				0		
レポート外の提出物									
その他			30				チャペルの感想		
カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング									
DP1	○	DP2	－	DP3	－	DP4	－	ナンバリング	NU10102J
学習課題（予習・復習）									1回の目安時間（時間）
次回に参照する聖書の箇所を読む。 チャペルに出席し聖書と讃美歌に親しむ。 授業を聴き考える力を養う。 学習したことを復習し、内容を理解する。 主の祈りを覚える。									4

授業計画	
第1回	新約聖書の構成 －新約聖書「マタイによる福音書1章1～17節」を読む。－
第2回	キリスト教の礼拝1 －新約聖書「ローマの信徒へ手紙12章1～8節」を読む。－
第3回	キリスト教の礼拝2 －新約聖書「コリントの信徒への手紙11章23～26節」を読む。－
第4回	三位一体1 －旧約聖書「出エジプト記3章1～14節」を読む。－
第5回	三位一体2 －新約聖書「エフェソの信徒への手紙1章3～7節」を読む。－
第6回	ペンテコステ －新約聖書「使徒言行録2章1～13節」を読む。－
第7回	キリスト教の教派1 －新約聖書「ヨハネによる福音書1章35～42節」を読む。－
第8回	キリスト教の教派2 －新約聖書「マタイによる福音書16章13～20節」を読む。－
第9回	キリスト教の教派3 －新約聖書「ローマの信徒への手紙3章21～31節」を読む。－
第10回	クリスマス1 －新約聖書「ルカによる福音書2章1～7節」を読む。－
第11回	クリスマス2 －新約聖書「ルカによる福音書2章8～20節」を読む。－
第12回	クリスマス3 －新約聖書「ヨハネによる福音書1章1～18節」を読む。－
第13回	クリスマス4 －新約聖書「マタイによる福音書2章1～12節」を読む。－
第14回	イースター1 －新約聖書「マタイによる福音書26章17～30節」を読む。－
第15回	イースター2 －新約聖書「マタイによる福音書28章1～10節」を読む。－
テキスト	新共同訳聖書（日本聖書協会）、新生讃美歌（日本バプテスト連盟）
参考図 書・教材 ／データ ベース・ 雑誌等の 紹介	質問などがある場合には翌週の授業で解説をします。

課題に対するフィードバックの方法	授業を通して「感恩奉仕」の基となるキリスト教への理解を深め、自身の価値観や判断基準の一つとして身に付けてください。キリスト教を理解する上で授業で扱った聖書の箇所を読み考えるとともに、聖書に親しむためにも授業で扱わない箇所も読んでください。また、チャペルへの積極的な出席も心がけてください。
学生へのメッセージ・コメント	